

昭和46年1月1日発行
毎月1日 15日発行
発行所 佐賀県鳥栖市宿町1118
鳥栖市役所

とす市報

1月1日号
No. 198

市民の動き (12月1日現在)			
人	口	世帯	
総数	男	女	(+41)
(+147)	(+88)	(+59)	
47,605	22,632	24,973	11,233

上段は前月との比較



公害問題が全国的な重要課題として真剣に論議されています。鳥栖市にもたくさんの会社、事業所等が進出した結果やはり公害問題はありますが、幸いにして企業側の施設改善で漸次、被害除去が進められています。こうしたことは将来に向かっても厳重に留意してまいりたい所存でございます。

昭和29年4月、2町3村が合併して鳥栖市が発足しましたが、当時約40,100人の寄居所帯の町が、16か年の歩みの中で約48,000人と漸増しながらいかに変ぼう、進展してまいったでしょうか。

まず2町3村は旧来から隣接町村としての接触と親近感によって交流が行なわれていたのですが、しばし町村ごとの地域圏の成り立ちは、ほぼ断然としていたようでありました。それが今日では道路の新設、改良に伴い、公営、一般住宅の急増ならびに会社、事業所等の進出によって町村境は埋められて接続し、都市形成の一体化が急速に進められているという実情であります。

さらに今後は、鳥栖・基山におけるマ



原市長

スタープランの具現、また広域行政圏の考慮による近郊市町村と関連した地域開発計画が必然押し進められねばならぬ、というふう勢の中で、本市の都市計画、農業振興計画等を盛り込ん

この自然美をいつまでも

— 安良川上流の岸田橋付近で12月5日撮影 —

られなければならないことは当然のことでございます。

今日まで、市民各位から早急に着手してほしいと持ちこまれた要望、意見はた

視野に立って、今がもっとも必要なのか、また将来に向かい何を計画立案すべきであるかを判断し、これらを財政事情と組み合わせながら、議会に提案している次第であります。

本市でも都市化が急速に進み、公害の発生がみられるとはいへ、それはまだ、72平方畑の一部にしかすぎません、市内から見える範囲の九千部山およびその山麓は、鳥栖市の領域であり広大な森林も数々の谷川も汚れることなく静かで清らかであります。そして平和な農村風景が山麓一帯に広がっています。いわゆる四季を通じて、心をなごませてくれる素朴な大自然公園が健在しているのであります。わたくしどもは、こうした足もとにある郷土の風物を今一度見直し、これから先、伸びゆく鳥栖市がいかような近代都市に移行しようとも、当初からの鳥栖市建設の命題である「文化的田園工業都市」は、ぜひ守り通さねばならないと考えている次第であります。新年にあたり市民各位のご理解とあたたかいご協力をさらに乞い願うものであります。

自然美の中の文化都市へ

鳥栖市長 原 忠 實

だ、鳥栖市の総合開発計画の策定が要求される時に直面しているのであります。

九州縦断、横断高速自動車道、日本一のインターチェンジ、そして鳥栖～筑業野有料バイパス等の開発により、鳥栖市に滞在する「位置のエネルギー」は数倍も加わり、ますます交通の利便性として鳥栖市は有名になります。しかし本市が単なる通過交通の要衝として取り残されたいよう今こそ十分心してからねば、悔を千載に残すことになります。そのためには、その時と、進展する環境に相応した都市づくりが、相呼応して進め

くさんあり、いずれももっともな内容のものばかりであります。具体的内容は省略いたしますが、これらをまとめますと「交通事情の急激な変化にともなう、近代的都市事業の推進、道路の改良、舗装、農政の抜本的改革と事業の推進、教育施設の改善、住宅問題、衛生行政の充実、福祉事業の飛躍的向上、交通対策、公害対策、文化施設の早期実現、文化団体の育成等々」ということであります。

以上いずれも緩急の差こそあれ、当然市で考えなければいけない内容のものばかりですが、市全般の行政という公平な

鳥栖地区、近く着工

九州縦貫自動車道

待たれる「日本一のインターチェンジ」

九州縦貫自動車道の建設を担当している日本道路公団久留米工事事務所では、新春早々、鳥栖地区の建設に着工する意向です。同自動車道は、48年秋、福岡～熊本間102.8kmを開通する計画で、すでに44年3月熊本地区で着工しており、鳥栖地区は2番目の着工になります。

鳥栖地区では、道路公園の依頼を受けた県が鳥栖土木事務所内に高速自動車道建設推進室を置き、3年前から市内約50万平方メートルにおよぶ用地買収を進めてき

ました。市内通過距離は4.2km、永吉町南部に九州横断道と交差するインターチェンジが建設され、これに関連して国道3号線および34号線にもインターチェンジができますが、これらのインターチェンジだけで約26万平方メートルの広さ。その規模は日本一といわれています。

市内の関係地主は約250人。民家40戸のほか永世神社(永吉町)、墓地2か所が立ちのちなくてはなりません。縦貫道関係の用地買収はほぼ終わっており、横

断道インターチェンジ関係の買収も、鋭意行なわれています。

道路建設はまず土盛り(高さ平均6メートル)から始められますが、鳥栖市内4.2kmの建設に約250立方メートルの土が必要。これを小部町三沢から専用道路を使って1日約8000立方メートル運ぶ計画ですが、8000立方メートルといえは6トン積トラックで2000台分。この2000台がフルに動いて土運びに1年半はかかるということです。建設費は市内だけで約70億円(買収費とも)。このような莫大な経費は大手の市中銀行が国の道路債を引受けてまかなわれます。48年3月ごろには鳥栖地区の道路の形が一応完成し、その後秋までに舗装などの仕上げをする計画になっています。

した。この道路は県道久留米～基山～筑紫野線の一部で、鳥栖市から久留米市へ行くのに混雑する3号線と避けて、この道路を利用すればうんとスピードアップされます。道幅は6.5mですが将来は16mに広がる予定です。新浜橋は全長327m、幅13.5m(4車線)の規模で44年末完成していますが久留米側の取付道路が現在工事中のため左右にうまいしなくてはなりません。橋から鳥栖の方へ680mは45年度で舗装しましたがそのほか順次行なうことになっています。

さらに轟木町からこの道路を北上させるこのほど着工した鳥栖筑紫野有料道路に連絡させる計画になっており、これが完成すれば、有料道路はさらに効果のよいものになると期待されています。

鳥栖—筑紫野有料道路

延長13キロを着工 8月開通へ

鳥栖筑紫野有料道路の起工式が12月21日、基山町園部で行なわれました。この道路は国道3号線の混雑を解消するため福岡県筑紫野町と鳥栖市を直結するバイパスで、佐賀県と福岡県の話し合いによって建設が決まったものです。

総延長13.7kmで佐賀県側7.4km(鳥栖市内は3.1km)、福岡県側5.6km。起点は鳥栖市神辺町の大木バス停のところで、車道の幅は当初6.5m(2車線)ですが、将来は13m(4車線)にし中央分離帯を設けるよう用地が確保されています。市内で従来の道路と交差する箇所4か所は立体交差にするほか、桶比町にインターチェンジが建設されることになっています。

建設費は総額29億8000万円、佐賀、福岡両県で折半し、それぞれ14億9000万円を負担します。46年8月に使用開始の予定で、その日から向こう22年間は料金を徴収します。しかし徴収所は県境1か所に設け、ここを通る自動車についてだ

け料金をとることになりますので、県内だけで有料道路を利用する場合は無料。神辺町谷では起工式に先立って橋台工事を行なっています。

なお県ではこの道路を神辺町から南下させて新浜橋に連絡させる計画です。すでに轟木町国道34号線から新浜橋までは開通していますので、完成すれば国道3号線のバイパスとしての効率も倍加すると期待されます。すでに古賀町、壺方町、神辺町の一部では、有料道路建設用地と合わせて用地買収が終了しています。この分も入れて有料道路の用地関係者は市内で94人、田畑、宅地、山林、原野、墓地、ため池など合計83,131平方メートルが買収されました。

久留米への近道

県道筑紫野線が開通

国道34号線、轟木町(九州亜鉛鉄工債)から新浜橋まで2770mの県道が開通しま

葬祭公園用地 決まる

轟木町にあった市の火葬場が使えなくなって以来、市は新火葬場の建設用地の選定に努力してきましたが、45年春、ようやく河内町横井地区に建設するよう、地元のみなさんの賛同を得ました。同地は壺方町北方から約2km、標高約150mのところ。用地として約12aを確保し、火葬場周辺を公園化する計画です。もちろん火葬場のものも陰気なこれまでの印象とはちがひ、厳粛ながらも明るさのある設計にするものです。

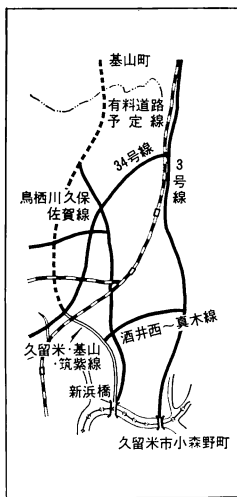
進入道路約2kmは、現在、幅2～3mの道路ですから、この改良設備が必要です。この整備は単に火葬場往復のための道路整備だけでなく、周辺山麓地域の開発において役に立つものですから、国の補助が受けられるよう努力しています。

すでに通過地区の神辺町、古賀町、壺方町、河内町のみなさんには説明会を開いてご理解を得ています。

市は現在、県が新宝満川(筑後川の支流)に設置している東部工業用水から、上水道用水として最高1日1万5000m³の約束で分水してもらっています。現在1m³4円、1日約6000m³、夏は約1万m³購入していますが、この水は昭和57年までの契約。11月末現在の家事用給水世帯は、市内全世帯の42%、約5000世帯ですが、今後給水世帯が増加し、各種企業等が進出すると予想されるほか、下水道を設置すれば、その終末処理場や水洗便所等に大量の水を使うこととなります。

これらの水は筑後川に頼るほかありません。ところが工業化、都市化の進展に伴い、筑後川は北部九州のさらに重要な水資源となり、無料では使えなくなると考えられます。ここで市独自の取水権を確保することは市の発展に欠かせない条件であり、県の指導を得て、建設省に申請したものです。

備後団地の県営住宅側からみた 建設中の市営住宅



地図訂正 久留米・基山・筑紫野線は「久留米・基山・筑紫野線」の誤り。

藤木地下道完成 までひと息

藤木地下道建設工事は、今施工中の鳥栖倉庫株式会社取付道路工事を46年3月に完了し、これで地下道工事すべてを終了することになります。

同地下道は鳥栖市の都市計画街路今泉田代線(延長3457m)の一部に当たり、市はこの区間505mを国鉄と費用を出し合せて建設しているものです。総事業費は約4億5800万円。43年1月末着工以来3年余り、市民のみなさんには通行に不便をかけてきましたが、もうひと息というところになりました。歩道はすでに通行できますが、車の通行は今しばらくお待ちください。

地下道から北上または南下する道路は、今後国の認可があり次第順次建設することになりますが、市民のみなさんにご協力をお願いします。



取付道工事中の藤木地下道

旭駅前市営住宅

2月には入居者を募集

市は肥前旭駅前に45年度の市営住宅を建設中ですが、このほど集会所建設が国の補助対象として認められましたので、近く着工することになりました。集会所はコンクリートブロック造りで約54平方メートルの設計になっています。

市営住宅は4階建鉄筋コンクリート3むね(24戸分)を8月から内山建設が工事中で工事費は3580万円。敷地の広さは

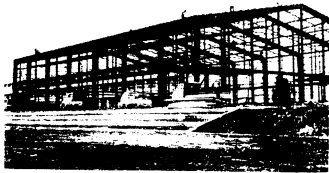
約3000平方メートルで南北に細長いため、3むねを千鳥に並べて各むねになるだけ日が当たるよう配慮しています。1戸の広さは47.7平方メートルで6畳1間、4畳半2間、台所、浴室、便所という間取り。3月20日完工予定で、2月に入居者を募集することになっています。

筑後川から1日4万500トン

躍進に備え取水権を申請

市は筑後川の許可を1日4万500m³取水する取水権確保の許可申請を10月建設省に提出しました。





西中体育館工事急ぐ

鳥栖中学校の体育館(講堂兼用)建設工事は12月上旬鉄骨が組み上がり、全工程のおよそ40%を完了しました。完成は46年3月末の予定。設計によるとバスケットコート2面かとれる広さ。ステージわきの控え室は2階にして有効に利用できるようふうがされています。延べ面積は1161平方メートル。屋根は鉄板、外壁はフレキシブルボード、一部モルタル仕上げになります。

施工は野中建設、工事費は4138万円です。このうち国の補助は900万円余り。これは国で決めた基準面積があり、その建設費の2分の1となっているものです。

12月12日開会した定例市議会に、市執行部は19議案を提出しました。おもな議案は鳥栖市交通安全指導員設置条例、土地開発基金設置条例、市税条例の一部を改正する条例、土地改良事業負担に関する条例、林道および併用林道の認定、45年度一般会計および特別会計補正予算および44年度一般会計と特別会計の決算認定などです。

▼鳥栖市交通安全指導員設置条例…鳥栖市交通安全対策協議会は、市民の交通安全の指導と交通道徳の高揚をはかるため交通安全指導員30人を置いていますが、その身分をはっきりさせることと、指導中の不慮の事故にたいしても市の非常勤特別職として対処できるように市の交通安全指導員にするものです。

▼土地開発基金設置条例…全国の市町村が頭をなやませているのが公共用地の確保です。本市でも開発公社を設けて積極的に取り組んでいます。国の方でも基金制度を活用するのが適当として、昭和44年度から地方交付税の基準財政需用額に算入し、地方自治体に基金制度を作らせることになりました。本市でも45年度交付税の中で3988万8000円が地方交付税の中に算入されています。端数を整理して4000万円の基金を設定しようとするものです。

▼市税条例の一部改正…都市下水道、都市公園、都市計画道路などの都市計画事

進む田代小の鉄筋化

田代小学校の古い木造平屋建て校舎の一部を、鉄筋コンクリート3階建ての近代建築に改築する工

事が着々と進んでいます。この工事でき上がるのは15教室ですが、このうち7教室が46年3月20日、8教室が6月15日完成の予定です。

延べ面積は2150平方メートルで屋上に出る塔屋があります。建設工事は野中建設で工事費は1億240万円。同時に軽量鉄骨168.5平方メートルの給食室も建てられます。

県立鳥栖商業高校内装工事にはいる

8月12日起工した県立鳥栖商業高等学校(仮称)は12月上旬コンクリート打ち工事を終え内装工事にはいっています。建設場所は平田町、元の市実験農場あと

4万2823平方メートルの敷地を市が提供したものです。46年2月完工、4月開校めざして鉄筋コンクリート3階建ての管理棟、普通教室棟、産産棟の3棟が建設中です。産産棟とは産業教育振興法の補助を受けて建築するもので3分の1が国庫補助、このほかの工事費はすべて県費。建築工事費は2億900万円です。宝業建設および中野建設が施工しており、敷地造成は野中建設が3718万円で行なっていました。体育館やプール、柔剣道場などは46年度以降、順次建設される予定です。

同校の生徒定員は675人、1級45人で15学級の編成で計画されています。開校すれば、現在鳥栖商業商業科に在学中の1年生と2年生が2級生、新しい1年生225人は他の県立高校生と同じく2月ごろ募集され

朝日山から見た鳥栖商業高校建設工事およびこのほど決まった校章



業は、国県支出金、地方債(市の借金)、おもに税金による一般財源によって進められます。この財源をたすけるため昭和41年度から45年度までの予定で、市は都市計画税を設けました。しかしこれだけではとうてい足りず、各年度とも都市計画税を上回る額をつぎ足している現状です。ここで都市計画税を中止すれば、

民生費(1917万2000円) 医療扶助等1482万8000円。精神薄弱者コロニー入所委託料、心身障害児家庭奉仕事業委託料等28万7000円、児童遊園遊具設置費、老人性白内障手術費等にたいする補助金31万4000円。その他小鳩園の定員増に伴う諸経費と保育所措置基準額の引上げによる私立保育園への措置委託費の追加見込

ら10万円の寄付をいただいています。次に公害対策の経費67万円を計上しました。これは鳥栖市が騒音規制地域として近く指定されることになりましたので、音量測定器等の器具を購入する経費および公害担当職員の研究費にあてるものです。

▼農林水産費(315万7000円) 鳥栖市土地改良区事業運営補助金100万円、および藤木地区揚水経費負担金35万円、峰越林道大河内線の一部改良工事費132万9000円など。そのほか米作近代化促進良質米確保、拠点高度近代化集団等の強化推進事業費補助として県補助12万7000円の交付がはかりましたのでそれぞれ予算化しました。

▼衛生費(285万2000円) し尿くみとり作業に300万円の補助をすることにしました。近ごろ市内のくみとり申込みが急増し、それらの世帯は平垣部全域にわたり散在するようになり、このため1世帯当たりのくみとり経費が高つくようになりました。くみとり料金は41年に改定されたままで、今日では作業員もなかなか集まらず、このままでは、サービスに低下をきたす恐れもありそうです。ここで料金改定も考えられますが、その前にまずくみとり事業に補助をしようという考えです。このような経費を追加したいが、ほかには減額もあり衛生費総額では285万2000円の追加になっています。

▼教育費(174万6000円) 鳥栖中学校体育館用の便所を館外に新築する経費および運動場用便所の新築費として167万円を計上しました。これらはいずれも、県体や市民体育大会等の会場にした場合校舎を開放したいですむようにするためです。このほか麓および旭地区公民館についてはライオンズクラブから50万円、鳥建会から30万円、今町松田蔵造さんから

12月定例市議会ひらく

土地開発基金設置条例など19議案を提案

これにかわるお金を他の一般財源でまかなわなくてはなりませんので、その分だけ、教育、道路、福祉などの各種事業が遂行できなくなるのです。時代の流れに適用した町づくりを中断することはできませんので都市計画税をさらに昭和50年度まで継続したいというものです。

一般会計補正予算では、今回8998万7000円の追加を提案しこれが議決されれば予算額は15億5547万6000円になります。これらを歳出費別に追加額が多い順にみてみると次のようになります。()内は今回の追加額。

▼歳入(4000万円) 土地開発基金に当てるため科目新設。

額等357万6000円を追加しました。

▼土木費(1333万6000円) 道路維持に必要な切込砕石等の原材料費200万円。市道舗装750万円。狹野一袖比線道路新設改良の用地購入費と物件補償費として52万5000円を計上しました。工事は鳥栖商業野有料道路の関連工事になっています。住宅関係では、債権住宅集会所が補助を受けることになりましたので、この建設費および排水溝新設工事費として205万円を追加。またとしの台風で被害の出た霜月〜土穴線の橋復旧工事費として88万6000円を計上しています。

▼災害復旧費(434万円) 台風9号による公共災害復旧費の認証額が内示されましたので、これらを追加。

▼総務費(363万円) 12月15日、市庁舎前広場に設置した機関車の修繕料75万円、展示場の上家新築工事修繕費80万円および運搬経費の見込額など合計170万円を計上しましたが、これらの経費についてはライオンズクラブから50万円、鳥建会から30万円、今町松田蔵造さんから

区分	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
	千円	千円	千円	千円	千円
総額	7383,000	5895,700	1,9326,300	1,9316,200	1,3651,200
国県支出金	1650,000	1470,000	1,070,000	8391,000	6748,800
地方債	3377,000	620,000	5200,000	4660,000	2120,000
一財都市計画税	1066,000	1275,400	1700,800	1830,200	2353,400
一般財源	1290,000	2530,300	1725,500	4435,000	2429,000

消費生活センターのご利用を 苦情相談や商品テストも

大量消費時代といわれる昨今、店には多種多様な商品がはららんし、わたしたちは自分の希望にぴったりの商品を見つけるのに苦労するほどです。またせっかく買った商品も、すぐ故障したりあるいは危険があるのではないかという疑問や不安を感じることもあります。

「ほんとうに消費者の立場にたって商品、サービスなどの相談にのってくれるところが欲しい」というのがわたしたちの気持ちです。これにこたえて佐賀県は12月1日、佐賀市松原二丁目の旧文化館跡に消費生活センターを開店しました。1階が消費生活相談室および展示コーナー、2階が商品テスト室になっています。

同センターがする仕事は次のとおりですが、かしい消費者になるよりどころとしてどしどし利用しましょう。

＜苦情相談＞

消費者からの商品やサービスにたいする苦情を受けつける窓口として、消費生活全般に精通した職員が苦情をきくほか

買物相談にも応じます。

＜展示コーナー＞

商品知識の向上、合理的な暮らしの設計など生活に参考になるものを展示します。またパンフレット、消費生活センターニュース、参考図書の自由閲覧、その他の資料をご利用ください。

展示がえは3か月ごとに、季節やその時期の話題にあわせて行ないます。

＜商品テスト室＞

生活用品の品質、性能、安全性などに

ついでにテストや苦情の対象になった商品のテスト、商品をえらぶための試買テストなどを行ないます。

＜講習会、研修会＞

衣、食、住、生活設計、消費者問題などについて消費生活の向上に役立つ講座を開きます。

▽消費生活講座…定員30人、期間6か月
▽くらしの1日教室…定員20人、1日2時間(毎週火曜日)

市に公害苦情相談員

市は12月10日付で市職員11人を公害苦情相談員に任命しました。この相談員制

度は45年11月1日施行の公害紛争処理法にもとづき、都道府県に義務づけられていますが、政令で定める市以外には必ずしも設置する必要はないものです。鳥栖市は政令で定められた市ではありませんが工業都市として発展している市ですから県のみならず、相談員を置くことになったものです。相談員は公害苦情を受けつける窓口です。

公害苦情相談員

▽総務課長・徳測勇輔▽同補佐・前山芳隆▽市民課長・古沢義之▽都市計画課長・古賀規一▽商工課長・香月信▽農林課長・藤野太郎▽同補佐・向井虎之助▽衛生課長・堤政治▽同補佐・岩橋一博▽公害係長・松尾喜造▽同係・井上彦人

県理科研究会発表会で 市内児童が3名入選

12月6日、佐賀市本庄小学校で開かれた佐賀県理科研究発表会で、市内の小学校から参加した2つの研究が入選しました。このうち1つは共同研究。
▽県議会議長賞…朝顔の開きかた=土井田たづ子さん(鳥栖小1年)
▽佐賀新聞社賞…福のかんさつ=池尻知文さん(旭小5年)・江崎好枝さん(同)

月17日までにしなない、一時金は受けられません。心当たりの人は福祉事務所へ申し出てください。
請求できる人…旧勲章年金受給者で、昭和39年4月1日現在、生存されている日本国籍の人。また39年4月1日以後死亡されているときは遺族が請求できることになっています。

福祉事務所社会係
電話③111 内線246

鳥栖菊花会が発足

菊づくりを通して互いに親睦を深め、技を練り、鳥栖市の文化発展に寄与しようとして45年12月12日、鳥栖菊花会が発足しました。事務所は東町二丁目原屋さん宅(電話③2011)。入会者は各種の研修会に参加できますし、秋にはマイクロバスで各地の菊花展や個人の花壇を見て回る計画もあります。

鳥栖駅前仮設駐車場

しているため、買物客などが車を止める余地がなくなるといへん迷惑しています。せっかく解放した広場が、心ない人々のため、市民の間に不満をいだかせる結果になり、土木事務所もたいへん当惑しているのです。公共の駐車場ですから、みんなが気持ちよく使えるようにしようではありませんか。

成人式へどうぞ

鳥栖市教育委員会は46年1月15日成人の日、中央公民館に満20歳の市民932人を招き、成人のお祝いをします。午前9時から受付、成人式は10時から10時30分まで。このあと正午まで祝賀行事として成人代表者5人の意見発表さらに鳥栖音楽連盟の演奏や婦人会のコーラスなどがはなやかに行なわれます。また成人のみなさんには記念品を贈ります。

該当のみなさんには案内状をさし上げていますからぜひご出席ください。

祝成人10キロロードレース

申込みは14日まで

1月15日、市教育委員会は第9回祝成人10キロロードレース大会を実施します。コースは宿町船底神社前～立石町バス停折返し、出発は午後1時です。1月14日

よろず相談、ことしから第2水曜日に

昨年毎月第1水曜日に市役所で行なっていました「よろず相談所」はことしから第2水曜、午前9時30分から市役所1階第1会議室で行ないます。またこれまで別途開いていた交通事故相談もよろず相談といっしょに行ないますのでご利用ください。

おもな相談内容は①交通事故に関すること②行政に関すること③人権問題に関すること④心配ごと相談です。

ミゾレの中で 植木の手入れ

老人200人が朝日山と田代公園で



朝日山で桜の手入れをするみなさん

鳥栖市老人クラブ連合会のみなさん約200人が、12月10日、朝日山と田代公園の桜の手入れをしました。同クラブはかねて鳥栖市の緑が求長く絶えないようにという願いから、市内のお宮や公園などに木を植え、さらに草取りや肥料やりなど、その後の手入れをしています。

12月10日朝は気温2度、ミゾレもようでしたが、クラブのみなさんはそれぞれカマやクワ、それに弁当を持って山登り。桜の根元の草を刈

て肥料を入れる事に汗を流していました。これらの桜の中には老人クラブが寄贈されたものも相当あります。

朝日山の手入れにいった人の中には、「50年ぶりに登ったが、山も市街地もすっかり変わったのでおどろいた」といっている人もありました。

また、市教委体育保健係(電話②504)に申込んでください。優勝カップ、賞状賞品があります。参加者は必ず医師の健康診断を受け、当日は船底神社前に正午までに集まってください。

日住病の治療費 請求受けけます

市衛生課は日本住血吸虫病の治療費請求を受けています。45年4月以降に日住病の治療を受け、社会保険、共済保険、国民健康保険の療養給付以外に、自己負担を支払った人は申出てください。1月30日まで。

ジフテリア・百日せき 混合予防接種

ジフテリア・百日せき混合予防接種を次のとおり実施します。
◎該当者 生後3か月過ぎて1回、その後3～4週間ごとに2回、さらにその後12か月から18か月の間にもう1回受けさせます。
◎期 日

1月19日(火) 田代、基里、麓、旭

1月20日(水) 鳥栖地区
◎時間 午後1時30分から3時まで
◎会場 中央公民館(電話③224) 本町三丁目

金し勲章年金受給者 に一時金

請求は17日まで

戦時中、金し(菊)勲章年金を受けていた人に、一時金10万円が支給されることになっていますが、この請求を46年1

通勤者の駐車は ご遠慮ください

鳥栖駅前広場の仮設駐車場について鳥栖土木事務所は、次のように市民の理解と協力をもとめています。仮設駐車場(約1000平方m)は、駅前商店街の買物客や駅に見送りに行く人々の自動車が一時駐車できるように県有地を解放しているのです。ところが、汽車通勤、通学する人が駅まで乗ってくる自動車、バイク、自転車などが1日中ここを占領